※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　家庭科

科目	家庭基礎	単位数	２	必要Ｓ出席数	４
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）				
副教材等	なし				

	年間	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	６枚	２枚	２枚	２枚
スクーリング	１０回	４回	３回	３回
テスト	２回	○	×	○
課題・実習等	なし			

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活のさまざまなことに関心をもち、積極的にとりくみましょう

- 将来自立して生活するために必要な衣食住や消費生活、家族・家庭及び福祉について基礎的・基本的なことを学習します。
- 学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活になるように活用しましょう。
- レポートは教科書を活用し取り組み、提出期日までに提出しましょう。
- ＮＨＫ高校講座を視聴することで、反復学習だけでなく、広い視点で学ぶことができます。

２　学習の到達目標

- 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を修得させる。
- 家庭や地域における生活のなかから問題や課題を見いだし、習得した知識及び技能を活用して主体的に解決させる。
- 様々な生活事象に関心をもち、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題や課題を見いだし、習得した知識及び技能を活用して解決策を考察し、根拠に基づいて論理的にそのプロセスや結果を表現している。	様々な生活事象に関心をもち、生活の充実向上をめざして主体的に問題の解決に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ	家族・社会との共生	第1章　生涯を見通す 第2章　人生をつくる 第3章　子どもと共に育つ 第4章　超高齢社会を共に生きる 第5章　共に生き、共に支える	a:人の一生と家族・家庭及び福祉に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけている。 b: 家庭や地域及び社会における生活の中から問題や課題を見いだし、解決策を考察し、根拠に基づいて論理的にそのプロセスや結果を表現している。 c: 様々な生活事象に関心をもち、生活の充実向上をめざして主体的に問題の解決に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート 出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査
Ⅱ	生活の自立	第6章　食生活をつくる 第7章　衣生活をつくる	a:食生活や衣生活に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけている。 b: 生涯を見通し生活の計画・管理について考え、習得した知識や技能を活用しながら工夫している。 c: 様々な生活事象に関心をもち、生活の充実向上をめざして主体的に問題の解決に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・レポート ・出席カードの設問	・レポート ・出席カードの設問	・レポート ・出席カードの設問
Ⅲ	生活の自立	第8章　住生活をつくる 第9章　経済生活を営む 第10章　持続可能な生活を営む	a:住生活や消費生活などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身つけている。 b: 家庭や地域及び社会における生活の中から問題や課題を見いだし、解決策を考察し、根拠に基づいて論理的にそのプロセスや結果を表現している。 c: 様々な生活事象に関心をもち、生活の充実向上をめざして主体的に問題の解決に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査
	生活の創造	第11章　これからの生活を創造する				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度